

(様式案)

NBRP同一機関内 (研究機関名)

生物遺伝資源提供に関する覚書

ナショナルバイオリソースプロジェクト (生物種名) _____ の 代表機関・分
担機関 である (代表機関名又は分担機関名) _____ の (課題管理者の
所属する研究室名) _____ (以下「提供者」という。)と _____
_____ (以下「利用者」という。)は、提供者が利用者にリソース
_____ (「本件リソース」という。)を提供するにあたり、次の事項に同意
する。

1. 提供者は、ライフサイエンスの分野における研究開発及びその実用化の発展のため、生物遺伝資源(バイオリソース)の提供を行っている。
2. ①利用者は、本件リソースを、次の課題に利用し、商用又は営利目的に使用してはならない。
課題名: _____
②利用者が、本件リソースを上記と大幅に異なる課題に利用するときは、事前に提供者に連絡する。
3. 利用者は、本件リソースを、ヒト(治療、診断、飲食物、その他)に直接使用してはならない。
4. 利用者は、本件リソースの利用に当たって提供者カタログ及びホームページに掲載されている次の条件を遵守する。

尚、利用にあたって寄託者から事前に承諾を得ることが必要な場合は、利用者は本同意書の締結に先だて承諾書を用いて寄託者より承諾を得ること。

5. 利用者は、本件リソースを利用した研究結果等を発表する際はMaterials and Methods等に、本件リソースが文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクトを介して、提供者から提供されたことを明示する。[英文例:○○○○(リソース名) was provided by the (提供者名) through the National Bio-Resource Project of the MEXT, Japan.] また、利用者はその発表の情報を提供者へ送付する。また、提供者は、利用の状況及び成果等について利用者に報告を求めることができ、利用者は誠実に提供者の求めに対して回答することとする。
6. 利用者は、本件リソースの提供にあたって発生する経費を負担する。
7. 本件リソースは、利用者と2項①記載の課題に携わる共同研究者が同一の課題の範囲内で利用す

(様式案)

ることができる。ただし、利用者は本件リソースを第三者へ転売又は譲渡し、あるいは、上記以外の第三者に利用させることはできない。ここでいう「譲渡」とは知的財産権、実施権等の全ての権利の移動あるいは移転ないし引き渡しを含む。

8. 提供者は、本件リソース並びに本件リソースを利用する権利のみを利用者へ提供する。本件リソースに付帯している知的財産権、実施権等の権利は明示の如何を問わず、利用者へは一切移転されない。
9. 利用者は、本件リソースの使用が第三者の知的財産権やその他の権利を侵害していた場合、利用者の責任によって対応する。ただし、提供者の故意又は重大な過失により生じた紛争についてはこの限りではない。
10. 利用者は、本件リソースが、欠点、危険な特性、不具合等を有している可能性があること、あるいは特定の目的に合致しているとは限らないことを認識し、本件リソースの利用によって損失が生じた場合は、利用者自らの責任で処理する。
11. 利用者は、本件リソースの利用にあたって、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」(平成 15 年法律第 97 号)、「動物の愛護及び管理に関する法律」(昭和 48 年法律第 105 号)等、必要に応じて、該当する日本の法令及びガイドラインによって認められる範囲内の研究環境、実験条件等で取り扱わなければならない。提供者は、利用者のこれら法令、ガイドラインの遵守について一切責任を負うものではない。尚、当該法令等に基づく手続きが必要な場合には、当該法令に従って利用者がその手続きをしなければならない。
12. 利用者が本同意書に違反したとき、提供者は、利用者による本件リソースの利用を停止することができる。
13. 本同意書に定めのない事項及び本同意書の履行について疑義を生じた内容については、双方が協議し円満に解決を図る。

以上により 同意書2通を作成し、提供者、利用者それぞれ1通を所持する。

平成__年__月__日

[提供者]

研究室名 : _____
課題管理者名 : _____
担当者名 : _____

(担当者は、自筆で署名し、押印(認印可))

[利用者]

研究室名 : _____
研究代表者名 : _____
担当者名 : _____

(担当者は、自筆で署名し、押印(認印可))